

50歳超のHIV感染者数の増加に伴い、 管理もより複雑になる¹

- 新たにHIV感染と診断された50歳超の患者数は増加しており、HIV感染者に占めるその割合は増加している。
 - 50歳以上のHIV感染者の割合は、2010年の28%から2030年までに73%に増加すると推定されている²。
 - 2018年に米国で新たにHIV感染と診断された37,968例の患者のうち、17%が50歳以上であった³。
 - 2016年には、世界の50歳以上のHIV感染者は570万例（470～660万例）と推定された⁴。
- この集団の治療は課題があり、他の併存疾患を考慮しなければならないことが多い¹。